



上尾市立西小学校
学校運営協議会だより
令和8年9月1日発行

〈第2回学校運営協議会 開催レポート〉

令和8年6月24日（水）に、第2回学校運営協議会を実施しました。委員の皆様からいただいた温かいご支援の声や、学校の安心・安全に向けた貴重なご意見の概要をご紹介します。

1. 学校課題研究について

西小学校では、小中一貫教育の取り組みとして「根拠に基づいて自分の意見を発表し、主体的に学習に取り組む児童」の育成を目指しています。

西小の子どもたちは、真面目で規律を守り、責任感を持って行動できる点が大きな強みです。今後はその強みを活かしつつ、「自分の考えを言葉にして伝える力」「主体的な行動力」、そして「算数科の学力向上」を目指します。

そこで今年度より3年間、「算数科（特に『数と計算』分野）」に重点を置き、課題研究に以下の2つの手立てで取り組んでまいります。

- ① **つながりを意識した指導**・・・既習の考え方を次の学びにどう生かすか、教員間で指導プロセスを共有・整理して授業展開を行います。
- ② **学びの振り返りと蓄積**・・・毎時間の授業で「大切な考え方」を振り返り、子どもたち自身が成長と学びの深まりを実感できるよう見守っていきます。

【学校運営協議会委員からのご意見】

- ・中学校進学時の学習ペースや教え方の変化によるつまずきを心配する声が上がりました。一方で、「小中一貫教育として目標が統一されている点は心強い。中学校側も共通目標の達成に向けてともに歩み、小中の接続をより強めてほしい」との期待が寄せられました。

2. 校内教育支援ルーム（SSR：スペシャルサポートルーム）について

「学校には登校できるものの、教室に入るのが難しい」という児童が、安心して心を休められる居場所として設置されています。

専任の「サポートルームティーチャー（2名が交代で週4日勤務）」を配置し、子どもたちの気持ちに寄り添いながらリラックスできる環境を整えています。

プリントやオンライン授業を活用した学習サポートをはじめ、個別に寄り添った登校・教室復帰への支援、担任やスクールカウンセラーとの情報共有、安心して過ごせる空間づくりに取り組んでいます。

【学校運営協議会委員からのご意見】

- ・「内心は学校に行きたがっている」という視点に立ち、登校しやすい雰囲気づくりや声かけを行うこと、そして、大人の意見を押し付けず子どもの話をじっくり聴く姿勢の重要性が共有されました
- ・成績などの結果だけでなく、取り組もうとしている行動や姿勢の変化をとらえてタイムリーに褒めることが、子どもの意欲向上につながるとの声が上がりました。

3. 地域人材の活用と地域連携について

PTAに代わる新しいボランティア組織として今年度発足した「西小ニコニコ隊」の皆様には、毎日の登下校見守りや班編成、図書寄贈、リサイクル活動、広報紙発行など多岐にわたりご支援いただいています。今年度はプール清掃にご協力いただいたほか、教室のカーテンクリーニングボランティアにもご参加いただきました。

さらに、弁財自治会や東今泉組の「登下校見守り隊」による安全確保や、地域ボランティアの皆様による絵本の読み聞かせなど、温かい見守りと教育支援が続いています。

【学校運営協議会委員からのご意見】

- ・地域に住む防災士の委員からは、地震や台風被害を想定した防災教育についてご提案をいただきました。机上の学びだけでなく、体験型のプログラムを取り入れることで、とっさの事態にも自ら考えて動けるような防災知識を子どもたちに育みたいという思いが共有されました。